

## 令和7年度 第2回 国分寺市地域公共交通会議 議事録

### 1. 開催概要

○ 開催日時：令和8年1月21日（水）15時30分～16時30分

○ 開催場所：国分寺市役所 会議室 502

○ 委員等：

（出席委員）

鈴木文彦会長、島崎進一副会長、市民委員：鈴木敬委員、西武バス(株)：秦野凌委員、立川バス(株)：佐藤祐浩委員、京王電鉄バス(株)：三浦裕介委員、トーショー交通(株)：山本直幹委員、武州交通興業(株)：濱田興紀委員、立川バス(株)労働組合：土岐雅人委員、関東運輸局東京運輸支局：小林聡委員、小金井警察署：並木正彦委員、北多摩北部建設事務所：榊原元秋委員

（欠席委員）

三和交通多摩(株)：山口真委員、(一社)東京バス協会：富樫秀樹委員

（事務局）

古谷交通対策課長、早川地域バス等担当係長、中塩地域バス等担当

（傍聴者）0名

○ 会議次第

#### 1 会長挨拶

#### 2 報告事項

（1）協議運賃の決定について（令和8年4月1日改定分）

…国分寺市地域バス「ぶんバス」（日吉町ルート、東元町ルート、本多ルート、西町ルート、北町ルート、万葉・けやきルート）

#### 3 その他

（1）ぶんバス北町ルート新府中街道完成に係るバス停の移動について

### 2. 議事

会議に先立ち、議事録作成のため、録音する旨と会議資料の確認を行った。（事務局）

## 1 会長挨拶

- ・ 議事に入る前に本日の出席状況について事務局より報告願う。(会長)
- ・ 出席状況は、委員14名中、出席者は12名、欠席者は2名。(事務局)
- ・ 事務局より報告があった通り、委員の過半数の出席を得ているため、国分寺市地域公共交通会議設置要綱第6条第3項により、本日の会議は有効に成立しているものと認める。(会長)

## 2 報告事項

### ○ 協議運賃の決定について（令和8年4月1日改定分）

- ・ 資料に基づき、運賃改定の目的・制度・考え方等を説明した。続いて、日吉町ルート、東元町ルート、本多ルート、西町ルート、北町ルート、万葉・けやきルートについて、各部会において運賃案の協議が調ったことを報告した。実施時期は令和8年4月1日を予定。(事務局)
- ・ 質問等はあるか。(会長)
- ・ 民営バス割引証は、介助者の方に発行されるものと調べた。介助者が民営バス割引証を提示した場合は、障がい者ご本人はご自身の手帳を提示するという理解で良いか？(市民委員)
- ・ 御理解の通りの対応になる。(事務局)

## 4 その他

### ○ ぶんバス北町ルート新府中街道完成に係るバス停の移動について

- ・ 新府中街道の開通に伴い、ぶんバス北町ルートの二ツ塚バス停において、バス停の移動が必要なことを説明。移動時期は、協議しながら進める。(事務局)
- ・ バス停の移動に合わせ、バスベイを設置する予定はあるか？  
(立川バス(株)佐藤委員)

- ・ 予定していない。(事務局)
- ・ バス停の移動時期等が確定しましたら、地域公共交通会議で報告いただきたい。(会長)
- ・ 令和8年1月5日に、バス停の新設及びダイヤ改正を実施した。皆様方には、多大なご協力をいただき、スムーズな運行に大変感謝している。4月1日から介助者割引も開始するので、今度とも協力をお願いしたい。(副会長)

### ○ 最近の状況について

- ・ 利用者はコロナ禍前の水準まで回復してきた。今後は処遇改善等で乗務員不足を解消していかなければならないと考えており、民営事業者としては値上げによる運賃改定をしていかなければならない。ただし、利用者はコロナ禍前の水準に戻ってきたこともあり、値上げによる逸走を気にしていかなければならないと考えている。乗務員不足の解消のために外国人採用に着手しており、今月ネパール人の乗務員を採用する。採用する方は現地の日本語学校に通われており、日本語はある程度話せるものの、文化の違いや車両をバックさせる習慣がない等の運転環境に慣れるところも対応していかなければならない。また、現状国分寺市内を走る区間については、ダイヤ変更の予定はないが、乗務員が増えることは考えにくい状況のため、都度利用者に迷惑をかけない範囲での減便は続いていくと考えており、依然として厳しい状況であることは変わらない。

(京王バス(株)三浦委員)

- ・ 令和8年7月1日から多摩・埼玉地区の運賃改定を予定している。現在は、初乗り運賃を180円で運行しているが、200円に改定したいと考えている。その他の区間の運賃改定は、改めてHP等で案内する。運賃改定の理由は、収支が大変厳しくなってきたためである。収入は、堅調に推移しており、コロナ禍前の水準まで戻ってきた。ただし、燃料費、修繕費、人件費等の支出が大幅に増えている。経費の増加に加え、営業所の改築を実施しているが、当初見積からの費用増加や工期の延長等あり、支出を圧迫する大きな要因となっている。乗

務員の採用状況は、今年度の目標採用数に到達したと聞いている。ただし、依然として乗務員の平均年齢は高いため、予断を許さない状況となっている。近年は、高校生の乗務員採用を実施しており、当面は事務職等を経験後、規定の年齢に達したタイミングで2種免許を取得いただくという流れになっているが、先般19歳の2名が乗務員デビューを果たしたところ。引き続き若い世代の採用含め継続し、なんとか持続可能な公共交通を目指していきたい。(西武バス(株)秦野委員)

- ・ 収入は、コロナ禍前の水準まで堅調に戻ってきているところだが、運転士不足の影響は重くのしかかっているところ。弊社の運転士は50歳程度がもっとも多く、今後定年を迎える方が多いことから、正規採用60歳から65歳まで変更し、なんとか運行に支障が出ないように業務しているところである。ただし、今後も採用が滞ってしまうと、減便等の検討も必要になってくるところと考えている。また、人件費の高騰や上水営業所の老朽化対策も踏まえて、経費の増加から運賃改定についても検討する必要があると考えている。(立川バス(株)佐藤委員)
- ・ 労働組合として、離職者を減らすため、会社と協議している。募集に対する応募はきていると伺っているが、離職者の人数が上回っているため、実際の乗務員の人数は増えていない。弊社も高校生の乗務員採用を実施しているが、免許を取得し、一人前になったタイミングで辞めてしまうという形が多く、中々若手が育たない状況になっている。そんな中ではあるが、最近女性の応募が増えていると聞いている。ただし、バス会社はもともと男性の職場であったがために、充実した女性に対する設備がないため、女性の受け入れ対応も現在対応している。(立川バス(株)労働組合土岐委員)
- ・ 去年は、小金井警察署管内の死亡事故、重大交通事故ゼロを達成出来た。死亡事故は令和6年11月以降発生していないところで、継続していきたい。達成出来ている要因は、国分寺市民、各運行事業者様の交通意識の高さの現れであると思っているため、引き続き御願いたい。死亡事故・重大交通事故は、減ってきているが、自転車の事故は全国的にみても発生件数が多く、全体の半

数以上を占めている。この状況を踏まえ、反則切符の適用を令和8年4月から行う。交通ルールが変更されると認識されている方が多いが、取締りの方法が変更されるのみである。引き続き意識高く、自動車・自転車合わせて、安全に利用いただきたい。(小金井警察署並木委員)

- ・ 道路占用許可を担当しており、バス停の新設・移設の手続きを速やかに対応している。引き続きよろしく願いたい。また、道路の管理をしているため、管内をパトロールしており、不法な占用物が無いか、道路・歩道に異常がないか毎日点検している。公共交通機関の運行上問題ないよう対策を日夜取らせていただいている。引き続き皆様の運行に支障が無いよう努めて参りたい。(北多摩北部建設事務所榊原委員)
- ・ 各方面の運賃値上げの動向について共有したい。まず、タクシーについては、国が定めた運賃の幅で各事業者が運賃を決定する仕組みになっている。やはり、タクシーについても人手不足、労働条件改善、設備投資等の理由で多摩地区においても昨年7月に運賃改定の申請がなされ、現在審査中となっている。通常のタイミングでは、今年の春くらいに改定になると見込んでいる。改めて改定があった際にはこの場で共有したい。次に、貸切バスについて、昨年9月に基準額を改定した。この場では関係ないが、トラック輸送はさらに運転士不足が深刻で、2030年には、相当のものが運べなくなると言われており、様々な法改正が行われている。トラック輸送の運賃は、届け出等はするものの、基本的に好きな運賃を設定できる状況となっている。ダンピング競争等起きないよう制度として設けるべきということで、昨年法改正がなされ、施行までは3年とまだ時間があるものの、適正原価を国が定めることになり、運賃の値上げが実施される。(東京運輸支局小林委員)
- ・ 令和7年4月から本多ルート、令和7年7月から日吉町ルート、東元町ルート、万葉・けやきルートの運行を開始し、今まで特段大きな問題はない状態である。令和8年1月5日から2路線のダイヤ改正を実施した。起終点を変更した日吉町ルートは特段意見等いただいていない。万葉・けやきルートは、待機時間を確保する場所を西国分寺駅東バス停から国分寺市役所バス停へ変更して

おり、市役所で10分程度待機時間を設けている。当然予測はしていたものの、待機時間が長すぎる等のお声をいただいている。今後ともお客様のお声に耳を傾けながら、運行していきたい。(トーショー交通(株)山本委員)

- ・ コミュニティバスは国分寺市のぶんバスのみを対応しているのだが、コミュニティバスの小型というかハイエース・キャラバンクラスの車両を用いた運行のオファーを他の自治体さんからいただいている。交通空白地域の解消のために、車両の小型化について、関心が強い領域だなと感じている。乗務員不足については、当社も影響を受けており、主婦を対象にした乗務員採用(免許の取得まで自社負担)に力を入れている。外国人採用も少しずつ進めている。当社の福祉バス事業にはなるが、障がい者の方を介助する添乗員のインターンシップ等を高校生対象に開催し、令和8年4月から1名採用する。このようなインターンシップを乗務員にも拡大していきたい。また、令和8年1月5日より新設した二ツ塚バス停について、2週間の運行実績は、降車は0名、乗車は1日1~4名程度となっている。乗務員からは、二ツ塚バス停の一つ先の恋ヶ窪交差点南からの乗車が多いと伺っている。新設に合わせ、乗り換えアナウンスを導入も、降車された方がいないため、乗り換えの実績もない。乗車人数は、告知不足と推測されるため、対応を検討していきたい。(武州交通興業(株)濱田委員)
- ・ 個人的な話にはなるが、最近市内を散歩することが増えた中で自転車の運転に危ないと感じることが多い。特に危険と感じているのは、歩行者信号が青になったタイミングで自転車側の信号が赤にもかかわらず、突っ込んでくる事象である。この度の改正でより安全に乗りいただけることを期待している。また、国分寺市は、道路が狭いところが多いため、バスの運転士はかなり神経を使っていると思う。狭い道路の運行等が道路交通法の改正の対象になるといいなど考えている。(市民委員鈴木委員)

- ・ その他、無いようなので、第2回 国分寺市地域公共交通会議を終了する。  
(会長)